

## 編集後記

編集委員の任期も来月までとなった。就任は九大に赴任して間もないことである。核融合研究所(岐阜県多治見)には随分長い間いたが、あまり学会の仕事に縁がなかったのは不思議な気もする。昨年度は教務主任で大学を空けるのが難しく、任期の半分ほどは委員会に出席できなかった。久しぶりに出席してみると、委員長が山崎先生から米田先生に交替していた。申し訳ないので仕事納めの編集後記はきちんと書きたいところだが…

福岡に移り現在4年目を迎えている。その以前は愛知県に住んで19年、学生時代は東京で11年を過ごした。出身は北海道で、どんどん文化的に古い所に移って行っている。現在の勤務地筑紫キャンパスは、そこら中から遺跡が出土し新しく喫煙コーナーを設置するのさえもままならない。現在住んでいる所は、田畑に囲まれ小高い所にある大野城市の新興住宅街である。愛知県では小牧市の桃花台(大城)というところに住んでいたのだが、やはり田畑に囲まれ高

い場所にある住宅街である。どちらもツツジが道路に沿って植えられており似通った雰囲気である。近くには春日市があり、以前も隣は春日井市である。「ホテルの里」もあり、高速のインターも近い。不思議と類似点が多い。また、福岡は故郷札幌とともに単身赴任や学会開催地として人気都市とのこと。都市のサイズも似ているし双方ともラーメンが有名、温度はまったく違うが気候も日本海側の気候、色々共通点がある。

西へ西へと移っているのだが(国境を越えないようにしたい)、違いもあるが同じ日本。プラズマ・核融合研究も様々な領域があるが、外から見るとそう大きな違いはないのではないだろうか。それぞれの領域が互いに協力し合っただけでシナジーを発揮すればプラズマはより興味深い分野になると思う今日この頃である。理工学分野間の競争も激化している昨今、プラズマ・核融合学会の役割は今後更に大きくなるのではないかと感じている。(藤澤彰英)

### プラズマ・核融合学会役員

会 長	二宮 博正	副 会 長	斧 高一(推薦委員長:研究所助成)	小森 彰夫(推薦委員長:学会賞)
常務理事	室賀 健夫(総務委員長)			
理 事	安藤 晃(企画委員長)	石原 修(研究部会連絡委員長)	上杉 喜彦(支部・地区研究連絡会委員長)	
	甲斐 俊也(財務委員長)	草間 義紀	佐々木浩一	
	清水 克祐	白神 宏之	白谷 正治(年会運営委員長)	
	豊田 浩孝	永津 雅章(広報委員長)	福山 淳	
	堀池 寛	米田 仁紀(編集委員長)		
監 事	市村 真	中澤 一郎		

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ:米田仁紀(電通大) 副委員長:豊田浩孝(名大)

エディタ:安藤 晃(東北大), 坂本瑞樹(筑波大), 中村祐司(京大), 長友英夫(阪大), 小西哲之(京大), 佐々木浩一(北大)

編集委員:石田 學(JAXA), 井 通暁(東大), 岩本晃史(核融合研), 内田儀一郎(九大), 浦野 創(原子力機構), 大場恭子(東工大), 落合謙太郎(原子力機構), 笠田竜太(京大), 梶村好宏(明石高専), 糟谷直宏(九大), 佐々木 明(原子力機構), 柴田裕実(阪大), 清水一男(静岡大), 城崎知至(広島大), 鈴木達也(長岡技科大), 高橋和生(京都工繊大), 徳沢季彦(核融合研), 成嶋吉朗(核融合研), 長谷川 純(東工大), 長谷川裕記(核融合研), 林 信哉(九大), 菱沼良光(核融合研), 古川 勝(鳥取大), 増井博一(九工大), 松浦寛人(大阪府立大), 籾内俊毅(阪大), 山田英明(産総研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第89巻第7号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

印刷 株式会社荒川印刷

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

2013年(平成25年)7月25日

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。